

近年中国東北地方における 漢代考古発見について

日時：平成28年10月22日(土) 13:00~15:00

場所：愛媛大学城北キャンパス メディアホール

講師：徐 光輝（龍谷大学国際学部教授）

近年、中国の遼寧省などでは漢代の古墳が大量に見つかり、同時代の城址も数か所確認されています。これらの新発見は、戦国時代後期以来の遼東郡、遼西郡の変遷や前漢王朝の武帝代から魏晉時代における楽浪郡、帯方郡との関係を考える上で重要な実物資料として注目されています。今回は、この分野に精通されている徐光輝先生をお呼びして、大連や撫順地方の最新の考古資料を中心にご紹介をしながら、上記の諸問題を考えてみたいと思います。



大連漢墓出土遺物



徐光輝氏プロフィール

龍谷大学国際学部国際文化学科教授。1961年生。中国吉林省出身。1993年吉林大学大学院考古学研究科を修了。共著『海でつながる倭と中国—邪馬台国の周辺世界』新泉社 2013年、共著『東アジアと「半島空間」—山東半島と遼東半島—』思文閣 2003年、共著『東アジアと日本の考古学 V』同成社 2003年、共著『東夷世界の考古学』青木書店 2000年など、多数。当センター客員教授。

申し込み不要・入場無料

主催：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番 HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>

Tel/Fax: 089-927-8391 Email: kotetsuAIC@gmail.com